

千葉県立松戸国際高等学校 2021年度活動報告

本校は、国際化社会に対応しうるグローバル人材の育成を目指して、前身の千葉県立松戸東高等学校から、平成6年4月に松戸国際高等学校へと改編され現在に至っている。普通科と共に国際教養科を有し、外国人・帰国生徒等の受け入れを行い英語教育、国際理解教育等に力を入れている。ユネスコスクール（ESD）活動が目指す、地球規模課題の解決のために、自ら考えて行動できるグローバル人材の育成は、まさに本校の目指すところである。特に、今年度は学校教育目標にSDGsへの取組みが設定されたことから、様々な局面での活動が展開された。

また、本校は千葉県高等学校教育研究会ESD部会の事務局校でもあることから、ユネスコアジア文化センター（ACCU）等と連携した国際交流活動も行っている。

昨年度からのコロナ禍で、多くの行事が中止や変更を余儀なくされているが、一方オンラインを活用した交流など新たな取組みも定着し始めている。今年度の取組みの一端を以下に報告します。

○国際交流・国際理解教育

オーストラリア短期留学 アメリカ短期留学（1・2年生対象、各々8月、2月に3週間）

昨年度に引き続き今年度もコロナウイルス感染症により、例年の国際交流については中止を余儀なくされたが、代替として夏休みに学校での英語コミュニケーション研修を実施した。

オンライン国際交流（9月）

文部科学省及びACCUの仲介により、韓国の高校数校とオンライン交流を実施した。

互いの違いを理解するだけでなく、同世代として共通することも多いということを理解した。

国際理解講演会（1・2・3年生対象、11月）

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンの広瀬太智氏に來校していただき、放送による全校対象の講演会を行った。講演後には、国際交流委員との懇談会も持っていただき、更に話を伺った

○地域等貢献活動

地域清掃ボランティア（5月）

昨年度から始まった全校規模でのボランティアだが、今年度は特に学校の校舎まわりの清掃を実施した。

ハロウィーン校舎清掃（11月）

ハロウィーンに合わせて、各々扮装して校舎内の清掃を実施した。また、清掃だけでなくALTの先生から、ハロウィーンの由来について学んだ。



松戸市国際文化祭のお手伝い（11月）

松戸市国際交流委員会主催の国際文化祭にボランティアのお手伝いを実施した。



○地球市民育成教育

1年次：SDG s 探求学習

1年次全クラスの総合的な学習の時間の中で、SDG sをテーマにした探求学習を実施した。各グループのテーマをポスター発表し合い、JICAから審査員の先生にきていただき、講評をいただいた。

ユネスコ・パリ本部主催「世界学生フォーラム」への日本代表として参加（1年次生徒）



オンライン会議の様子

*この他に、聖徳大学や麗澤大学主催の高校生体験発表会等に有志生徒が参加

○ESD教員研修会

本校が千葉県高等学校教育研究会ESD部会の事務局であることから、本校にて企画実施した。今年度は、ACCUの仲介で行われた日韓教職員交流での実践を元に、オンラインで韓国の高校と会場をつなぎ、実際に意見交換を行った。コロナ禍により頻繁に行われるようになったオンライン会議だが、遠いと思っていた韓国との距離が一挙に縮まり意見交換できることの喜びを感じた。

その他、各校における日ごろのESD活動の実践を報告し合うなど貴重な時間となった。

以上、本校では、この他にも多くのユネスコの理念に基づいた教育活動を実践している。今後もこれらの活動をユネスコという一本の軸で繋ぎ、ユネスコの説く「平和・共生」という地球市民意識を育成できるよう生徒にとって有意義なものにしていきたいと考えている。